

# (1) 区長査定項目等の予算要求・査定結果

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
企画経営部	【事業名】	当初要求額	73,716
	企画課事務費		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	53,628
	さらなる区民サービスの向上及び業務の効率化のために、本庁舎及び特別出張所窓口のあり方の検討や、本区におけるICT業務環境の最適性等についての調査・研究、区民等を対象にした意識調査等を行う。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	59,234
	1 窓口サービス改善 10,606千円 2 ICT業務環境等に関する調査・研究 13,799千円 3 区民意識調査 7,452千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	48,555
増減		10,679	
査定の考え方	特別出張所の業務は複雑化、多様化しており、窓口業務と地域力業務を総合的に見直す必要がある。関係各所と連携し、コンセプトを明確にして実施することを条件に要求を認めた。 区政運営の効率化を進める上で、区のICT環境について専門的かつ客観的に現状分析や課題整理、方向性の検討を行うため、外部委託の必要がある。情報システム課と連携して取り組み、最適なICT業務環境を構築することを条件に要求を認めた。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		— ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
総務部	【事業名】	当初要求額	238,178
	生活安全関係事務		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	238,178
	区民の防犯意識を高め、防犯に対する取り組みを行うことにより、区民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めている。 (地域防犯活動への支援、各種パトロール、区民安全・安心メールサービスの運用、防犯カメラ設置費・維持管理費助成等)		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	210,693
	1 高齢者の犯罪被害(振り込め詐欺)防止対策 20,572千円 2 青色回転灯車による通学路パトロールの強化 2,224千円 3 防犯カメラ設置費助成 88,796千円 4 防犯カメラ維持管理費助成 1,549千円 5 客引き客待ち防止パトロール体制 56,036千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	208,500
増減		2,193	
査定の考え方	特殊詐欺の撲滅に向けて、既存事業や新たな取り組みの犯罪抑止効果を検証することを求め、要求を認めた。 青色回転灯車両を2台から4台に増車することで、通学路パトロールの強化につながるため、引き続き費用対効果を意識することを求め、要求を認めた。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		77 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
地域力推進部	【事業名】	当初要求額	61,685
	自治会関係事務		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	61,634
	地域力のさらなる向上を図るため、自治会・町会の活動・魅力の発信、活動支援を行っている。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	61,634
	1 自治会・町会課題解決検討会 48千円 2 加入促進申込書付きチラシの作成 324千円 3 大田区地域力推進活動負担金 50,880千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	61,244
		増減	390
査定の考え方	自治会・町会課題解決検討会、加入申込書付きチラシの作成について、自治会・町会の加入率低下への対策として、2年を事業終期として集中的に取り組み、効果検証等を行うことを条件に要求を認めた。 大田区地域力推進活動負担金については、負担金支出の妥当性や効果等を確認し、要求を認めた。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		85 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
地域力推進部	【事業名】	当初要求額	624,188
	田園調布地区公共施設の整備		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	592,702
	田園調布せせらぎ公園内に、区民活動ができる場や集会室機能などを有する複合施設を整備する。 また、複合施設整備後、田園調布富士見会館の長寿命化大規模改修を行い、田園調布特別出張所等に移転することにより、多目的施設の整備と老朽化した特別出張所の機能強化を図る。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	592,702
	1 建築・土木委託費 104,616千円 2 建築・土木工事費 484,836千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	82,607
		増減	510,095
査定の考え方	田園調布せせらぎ公園休憩所は老朽化が進んでおり、整備の必要性が生じている。地域要望を元にした、区民活動ができる場などを複合化し整備することで、公園と施設の一体的な活用を図ることができる。 また、田園調布富士見会館の長寿命化大規模改修を行い、田園調布特別出張所等に移転することで、低コストで長期活用できる建物の確保等が可能となる。 なお、必要経費の精査により当初要求から減額となった。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		90-91 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
観光・国際都市部	【事業名】	当初要求額	79,623
	(一財) 国際都市おおた協会への運営費補助、事業費補助		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	78,775
	「国際都市おおた」の実現に向けて、区の方針のもとに柔軟性と効率性のある事業運営を行い、関係各方面と横断的に連携・協働を推進し、区民主体の活動を促進するコーディネート機能を持つ中間支援組織として、(一財) 国際都市おおた協会を設立し、事業を実施する。	区長査定 予算(案)	78,445
	【主な要求内容】	査定区分	C,B
	1 協会への運営費補助 51,329千円 2 協会への事業費補助 27,116千円	前年度 当初予算額	0
		増減	78,445
	査定の考え方	「国際都市おおた」の実現に向けて、多文化共生や国際交流等の各分野における柔軟かつ効果的な事業運営が可能であると考えたため要求を認めたが、海外研修参加費について精査するとともに、自主財源の確保及び区に依存しない財務体質の早期構築を条件に要求を認めた。	
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		110 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
観光・国際都市部	【事業名】	当初要求額	55,876
	東京オリンピック・パラリンピック推進事業		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	51,551
	大会気運を醸成し、大会を契機としたレガシーの創出を図るため、区内開催競技やパラリンピック競技の普及啓発、ブラジル選手団の事前キャンプ等の受入れ、区独自ボランティアの育成等の事業を実施する。	区長査定 予算(案)	47,276
	【主な要求内容】	査定区分	C
	1 大会競技種目の普及啓発及び大会気運醸成事業 28,633千円 2 ブラジル選手団のキャンプ受入れ 10,348千円 3 (仮称) おもてなしボランティア事業 4,438千円 等	前年度 当初予算額	31,516
		増減	15,760
	査定の考え方	ホストタウンとして、ブラジルが最高の舞台で成功を収めるために、万全のサポートを行うことが重要であるため受入等に係る要求を認めたが、渡航費については精査した。 (仮称) おもてなしボランティア事業については、大会開催時だけに限らず、開催後にボランティアが区に還元できる仕組みを事前構築し、区民及び区双方にとってレガシーとすることを条件に要求を認めた。	
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		68,69,70 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
産業経済部	【事業名】	当初要求額	150,000
	産業クラスター形成支援事業		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	100,000
	持続可能な成長が見込まれる次世代産業で、区内ものづくり産業と親和性の高いの事業分野を絞り込み、段階的に産業クラスターを形成し、区内企業の技術力の向上を図る。また、東京パラリンピック競技大会に向け、産業クラスターを形成して取り組んでいる「車いすバスケットボール用車いす」の製品開発を進める。 これらにより、区内ものづくり産業の更なる活性化を目指す。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	90,000
	1 次世代産業分野クラスター形成事業 65,000千円 2 障がい者用スポーツ用具の開発 25,000千円	査定区分	B
		前年度 当初予算額	0
		増減	90,000
		【査定の考え方】	障がい者用スポーツ用具の開発は、東京パラリンピック競技大会で、大田のものづくりの技術を結集した製品を国内外へPRすることができ、その後の受注促進につながる ことが期待できる。 次世代産業分野クラスター形成事業は、初期段階であることから、一部経費を精査した。
	* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
産業経済部	【事業名】	当初要求額	396,475
	羽田空港跡地における産業交流拠点の形成		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	195,719
	羽田空港跡地第1ゾーン整備事業を推進するため、空港跡地関連業務委託により拠点の整備や産業交流施設の機能構築を図る。 「IoTなどを活用した取引環境の整備」は、区内企業がIoT技術を活用し、企業間で各工程を分担して製造を行う「仲間まわし」の生産性向上を図り、取引拡大につなげることを目指している。中小企業が活用しやすいIoT技術の実用化に向け、調査分析と実証を行っていく。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	213,112
	1 設計・建設モニタリング業務 9,256千円 2 海外ベンチャー企業とのものづくり企業の連携創出 52,200千円 3 IoTなどを活用した取引環境の整備 130,000千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	145,804
		増減	67,308
		【査定の考え方】	一部経費を減額としたが、海外ものづくりベンチャー企業とのネットワークを形成する経費など、羽田空港跡地における産業交流拠点の機能構築を進めるための必要経費は認められた。 IoTなどを活用した取引環境の整備は、一部経費を減額とし、早期に本格運営へ移ることを条件に要求を認めた。
	* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
福祉部	<b>【事業名】</b>	当初要求額	2,658
	おおた子どもの生活応援プラン推進事業		
	<b>【事業概要】</b>	企画経営部長 査定後要求額	2,658
	平成28年度に策定をした「おおた子どもの生活応援プラン」を推進するため、進行管理を行う推進会議を開催するほか、計画を推進するうえで重要な考え方である「社会的包摂」に関する意識啓発を行う。 また地域力を活かし子育て世帯の多様な課題に応えるために、本プラン推進に資する団体等の活動支援や既存ネットワークを活用した団体間のコーディネートを行う。		
	<b>【主な要求内容】</b>	区長査定 予算(案)	2,658
	1 推進会議開催経費 419千円 2 区民活動支援コーディネートに係る経費 1,205千円 3 意識啓発、その他事務経費 1,034千円	査定区分	A
		前年度 当初予算額	7,270
		増減	△ 4,612
		<b>査定の考え方</b>	新たに取り組む区民活動支援コーディネートについて、子どもとその家庭が抱える課題を解決できるような支援体制を地域の中で整えていくことは、周囲からの孤立や課題の深刻化を防ぐために有効である。ただし、区民活動団体などによるネットワークを構築することを目指すものであるため、その目的に向け3か年のモデル事業として要求を認めた。
	* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
福祉部	<b>【事業名】</b>	当初要求額	155,120
	生活困窮者自立支援事業		
	<b>【事業概要】</b>	企画経営部長 査定後要求額	154,472
	「生活再建・就労サポートセンターJOBOTA」において、生活困窮者の経済的自立・就労に向けたサポートを行うほか、困難を抱える家庭の課題解決を支援するため、健康診断や各種手続きでの来所に合わせた「子ども生活応援臨時窓口」を設置する。 また、子どもの学習支援事業として、中学・高校生を対象とした学習支援に加え、高校未進学者及び高校中退者を対象とした学び直し支援を行う。		
	<b>【主な要求内容】</b>	区長査定 予算(案)	154,472
	1 生活再建・就労サポートセンターの運営 98,522千円 2 住居確保給付金の支給 9,422千円 3 子どもの学習支援事業 46,432千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	149,221
		増減	5,251
		<b>査定の考え方</b>	新たに取り組む「子ども生活応援臨時窓口」について、JOBOTAに来所しての相談はハードルが高いという家庭に対して、タイミングを捉え積極的に相談の機会を提供することにより、表面化しにくい課題の解決が期待できる。また子どもの学習支援については、今まで支援が届いていなかった対象者に対して新たに支援を行うものであり、将来の選択肢を増やすための取り組みとして有効である。 なお、必要経費の精査により当初要求から減額となった。
	* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
福祉部	【事業名】	当初要求額	96,554
	施設管理費 (老人いこいの家)		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	97,391
	高齢者の教養の向上を図り、踊り・歌などの活動の場を提供し、高齢者の生きがいの向上と心身の健康増進を図る。 平成30年度は定例的な介護予防(体操・脳トレ等)を実施し、地域で要支援1・2の方を受け入れる介護予防拠点とするため、大広間の畳を床に改修する。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	97,553
	1 建物等管理委託費 3,567千円 2 維持補修工事費 42,238千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	67,184
		増減	30,369
		査定の考え方	介護予防拠点整備の今後の展開については、本取り組みを含め既存事業の効果を検証の上整理することを条件に要求を認めた。
	* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		49 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
健康政策部	【事業名】	当初要求額	8,112
	両親学級		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	7,895
	母親の育児不安を軽減するために、育児に関する保健知識の提供と、父親にも育児参加を促すことを目的とした夫婦参加型の両親学級を開催する。また、妊娠期の過ごし方や妊娠期・子育て期など、その時期に応じた発育、発達、育児方法などの情報をタイムリーに配信する「大田区きずなメール」サービスを充実させる。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	7,895
	1 両親学級の開催 4,053千円 2 大田区きずなメールの配信(LINE配信拡充) 3,834千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	6,000
		増減	1,895
		査定の考え方	若い世代の妊産婦にとって、LINEによる配信は、さらに登録率が高まることが期待され導入効果が見込まれる。LINEによる写真や画像配信の方がより効果的であることから、先進区の事例を参考に検討することを条件に要求を認めた。
	* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		25 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
健康政策部	【事業名】	当初要求額	123,464
	すこやか赤ちゃん訪問 (新生児・産婦訪問指導)		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	123,546
	妊娠届出をした妊婦全員と専門職が面接し、その後の出産・育児期の支援を切れ目なく行う。また、子育て情報の提供や相談支援を行うため、生後4か月までの乳児がいる全家庭に助産師・保健師が訪問する。特にケアが必要な産婦(生後4か月の間)に対し、助産師を派遣して主に乳房ケアや授乳指導を行う。	区長査定 予算(案)	123,546
	【主な要求内容】	査定区分	B
	1 出産・育児支援事業かるがも 83,578千円 2 すこやか赤ちゃん訪問 34,709千円 3 母子保健システム経費 4,315千円 4 産後ケア 944千円	前年度 当初予算額	221,455
		増減	△ 97,909
	査定の考え方	産後ケアは、母子とその家族のすこやかな育児を支援するために必要な施策であることから、支援が必要な方にとって利用しやすい仕組みや手続き等を検討することを条件に要求を認めた。	
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ			26 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
こども家庭部	【事業名】	当初要求額	2,101,951
	大田区次世代育成支援緊急対策整備事業		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	3,141,587
	認可保育所への整備費補助等により、保育施設の整備促進及び保育環境の充実を図る。	区長査定 予算(案)	3,141,587
	【主な要求内容】	査定区分	B
	1 私立保育園開設補助 (24施設) 2,798,157千円 2 私立保育園園舎建替え補助 (1施設) 318,836千円 3 民間保育施設AED設置補助 (24施設) 9,360千円 等	前年度 当初予算額	1,076,720
		増減	2,064,867
	査定の考え方	現在の待機児童数や入所申込者数の見込みなどを踏まえた整備計画となっている。また、老朽化した私立保育園の園舎建替え補助やAEDの設置補助など、保育環境や安全性の向上を目指す補助も行うことで、保育の量的・質的な向上を図ることができる。入所申込の状況などを基に必要な保育定員数の精査を行い、保育園開設補助の施設数を見直したため、当初要求から増額となった。	
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ			27 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
こども家庭部	<b>【事業名】</b>	当初要求額	890,009
	事業運営費(児童館等管理運営費)		
	<b>【事業概要】</b>	企画経営部長 査定後要求額	883,785
	区立児童館49館やおおたっ子ひろば6所等の運営を行う。 学童保育事業については児童館から小学校内への移行を進めており、移行後学童保育を行わない児童館の一部については地域の子育て拠点として、子育て支援事業の拡充を図る。	<b>区長査定 予算(案)</b>	<b>883,785</b>
	<b>【主な要求内容】</b>	査定区分	B
	1 児童館等運営委託関係経費 780,818千円 2 学童保育賄費 36,401千円 3 区立児童館用消耗品(図書・教材教具等) 36,783千円 等	前年度 当初予算額	781,436
		増減	102,349
<b>査定の考え方</b>	学童保育を行わない児童館での子育て支援事業について、児童館という身近な場所で、一時預かり事業などの支援を気軽に受けられることになるため、育児負担を軽減する効果は高いといえる。 なお、必要経費の精査などにより当初要求から減額となった。		
*平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		31 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
まちづくり推進部	<b>【事業名】</b>	当初要求額	27,357
	地域拠点駅周辺のまちづくり		
	<b>【事業概要】</b>	企画経営部長 査定後要求額	27,357
	1 池上駅及び池上本門寺周辺地区のまちづくり 池上駅及び池上本門寺周辺地区を魅力あるまちとして更新することを目的に、都市基盤施設整備計画案の策定及び地元意見を反映させたまちづくり構想案の策定に取り組む。 2 多摩川線沿線駅周辺地区のまちづくり 新空港線の整備を契機に、沿線駅周辺のまちづくりの方向性の検討や交通実態調査等を行う。	<b>区長査定 予算(案)</b>	<b>27,357</b>
	<b>【主な要求内容】</b>	査定区分	A
	1 池上駅周辺都市基盤施設整備計画策定業務委託 2 (仮称)池上地区まちづくり構想案作成支援業務委託 3 多摩川線沿線駅周辺地区まちづくり推進業務委託	前年度 当初予算額	21,927
		増減	5,430
<b>査定の考え方</b>	池上駅の改築支援及びまちづくり構想の策定によって、魅力あるまちの形成を進めることができる。また、新空港線の整備に伴い、地域住民とともに沿線駅周辺地区のまちづくりを推進し、まちの機能向上を図ることで、地域の活性化が期待できる。 各業務委託については、委託の妥当性、事業進捗等を確認し、要求を認めた。		
*平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		94・95,124・125 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
まちづくり推進部	【事業名】		
	臨海部のまちづくり	当初要求額	15,795
	【事業概要】		
	1 空港臨海部まちづくりの調査検討 重点プロジェクト地区の事業推進、地区周辺活性化及び民間活力を活かした島部の土地利用再構築等、関係者と連携して検討を進める。	企画経営部長 査定後要求額	15,795
	2 空港臨海部交通ネットワークの調査検討 内陸部から臨海部への交通アクセス性及び多様な交通手段による回遊性向上の検討、舟運実証運航の実施等を行う。	区長査定 予算(案)	15,795
	【主な要求内容】		
	1 空港臨海部まちづくりの調査検討 2 空港臨海部交通ネットワークの調査検討	査定区分	A
		前年度 当初予算額	16,767
	増減	△ 972	
査定の考え方	島部の産業振興やにぎわい創出、水辺空間の活性化に向けた舟運の社会実験等、空港臨海部の更なる発展に向けた取り組みであり、委託の妥当性、事業進捗等を確認し、要求を認めた。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ			123 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
空港まちづくり本部	【事業名】		
	羽田空港沖合展開跡地利用の推進	当初要求額	392,003
	【事業概要】		
	羽田空港沖合展開跡地利用を推進するため、空港跡地関連業務委託を実施するとともに、民間事業者等との連携により「新産業創造・発信拠点」の形成や区民等の理解促進を図る。 また、第1ゾーンの基盤施設整備を進めるとともに、第2ゾーンの既設防潮堤を活用した都市計画緑地整備工事などを実施する。	企画経営部長 査定後要求額	387,618
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	387,618
	1 空港跡地関連業務委託 2 多摩川親水緑地工事 3 羽田空港跡地地区土地区画整理事業補助金 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	66,733
		増減	320,885
査定の考え方	2020年のまちづくりの概成に向けて、区内産業の活性化、おおたの魅力発信に寄与する、世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」の形成に向けた取り組みであり、委託や事業内容の妥当性、事業進捗等を確認し、要求を認めた。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ			118・119 ページ

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
都市基盤整備部	【事業名】	当初要求額	484,363
	道路改良事業		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	506,984
	京急連続立体交差事業において整備された高架下を横断できるよう整備を進めると共に、防災機能及び都市景観の向上のため、羽田地区等の一部路線及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場周辺の道路について無電柱化を行う。また、観光事業に際し、公園や施設を含め道路を一体的に整備することが効果的であることから、一部公園の周辺道路について舗装等の整備を行う。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	506,984
	1 無電柱化事業 (1) 羽田一丁目17番～羽田一丁目18番先 主要第94号線無電柱化整備工事その1 等 (2) 東海一丁目1番～東海一丁目3番先 整備工事 等 2 (仮称)勝海舟記念館(旧清明文庫)周辺道路整備工事 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	644,693
増減		△ 137,709	
査定の考え方	無電柱化に伴う企業者支障物件移設の移設時期等の精査により当初要求から増額となった。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		102・103,114・115 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
都市基盤整備部	【事業名】	当初要求額	1,179,663
	新設、拡張等整備(公園の新設、拡張)		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	1,131,444
	区民との協働による公園・緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進める。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	1,131,444
	1 多摩川台公園バリアフリー改修工事 2 水神公園休憩所新築工事・改良工事 3 森ヶ崎公園改良工事 4 池上梅園改良工事 等	査定区分	C
		前年度 当初予算額	956,650
増減		174,794	
査定の考え方	平成30年度整備予定の公園について、緊急性などを考慮し後年へ変更したため、当初要求から減額とした。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		64～66,98-99 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
環境清掃部	【事業名】	当初要求額	38,813
	環境保全に関する計画及び啓発		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	18,565
	環境保全政策全般に係る計画を推進し、普及啓発事業の実施により区民・事業者の環境保全意識の高揚を図る。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	18,565
	1 地産地消型未利用食品の有効活用に向けた需給調査 10,258千円 2 環境課題解決のための取組 4,968千円 等	査定区分	B
		前年度 当初予算額	15,199
		増減	3,366
査定の考え方	区内で発生する可燃ごみの約12%に相当する食品ロスを環境にやさしく解決するため、区内で完結する未利用食品の有効利用は効果が高いと判断し要求を認めた。学校給食残渣軽量化の機器開発を区内企業と連携して行い、資源の区内循環システムを学校教育に導入することで、産業・教育・環境の各分野が連携して取り組めるため、相乗効果が高いと判断し要求を認めた。 なお、必要経費や内容の精査により当初要求から減額となった。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		72,73 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
教育総務部	【事業名】	当初要求額	161,594
	外国人による英語指導		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	161,594
	国際理解教育の一貫として、児童が外国人や英語に直接触れることにより、外国の文化や英語に対する興味・関心・意欲を育て、将来国際人として活躍できる素地を養う。		
	【主な要求内容】	区長査定 予算(案)	161,594
	1 外国語教育指導員の配置 中学校 23,931千円 小学校(時数増) 135,451千円 等	査定区分	A
		前年度 当初予算額	126,038
		増減	35,556
査定の考え方	平成29年度に導入したICTを活用した英語授業との相乗効果が期待できること、「国際都市おおた」にふさわしい英語教育を実践することを条件に要求を認めた。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		38 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
教育総務部	【事業名】	当初要求額	280,794
	教育相談・資料調査		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	272,459
	教育相談では子どもに関わる様々な問題や悩みについて相談に応じ、自立への支援や望ましい関わり方などについて助言等を行う。また、学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、学校不応の解消等を目指した相談を実施する。	区長査定 予算(案)	253,411
	【主な要求内容】	査定区分	C
	1 教育相談員心理職の配置(増員) 82,573千円	前年度 当初予算額	223,838
	2 スクールソーシャルワーカーの配置(増員) 25,483千円		
	3 スクールカウンセラーの配置(増員) 89,538千円 等		
増減	29,573		
査定の考え方	不登校対策を重点課題として取り組むことから、スクールカウンセラーの増員について、中学校全28校週2回の配置のほかに、不登校対策事業実施校14校分は週3回の配置を認めた。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		34・35 ページ	

部局	予算要求の概要	要求と査定経過(単位:千円)	
教育総務部	【事業名】	当初要求額	553,034
	六郷図書館の改築		
	【事業概要】	企画経営部長 査定後要求額	548,676
	老朽化の進んでいる図書館を改築・改修し、地域特性を活かした情報拠点として機能の向上を図る。子どもから高齢者までの区民の学びの場となるよう環境を整備する。	区長査定 予算(案)	548,676
	【主な要求内容】	査定区分	B
	1 六郷図書館の改築工事 548,676千円	前年度 当初予算額	413,386
増減	135,290		
査定の考え方	スケジュールに基づき、地域・関係部局と連携・調整し、着実に進めることを確認し、要求を認めた。		
* 平成30年度予算(案)の概要 該当ページ		43 ページ	